

令和4年度 第5回佐久市社会教育委員会議 会議録

1 開 会

2 あいさつ

中澤委員長

3 会議事項

(1) 「居場所」に関する研究調査について

委員長

研究調査の進捗状況を共有するため、提出した企画書に基づき、各グループ今後の調査計画を発表してください。質疑応答の時間は全グループ発表後に設けます。まず、コミュニティスクール（以下CSと表記）グループをお願いします。

コミュニティスクール（以下CSと表記）グループ代表委員

6月に各学校のCS担当の先生とコーディネーターの方を集め、CS関係者会議をオンラインにて行いました。この会議では、CSの現状やそれぞれの学校のCSの特色、また、学校と地域が連携することの難しさや後継者問題等の課題などについて、参考になるお話を聞きました。

そして11月に、第2回CS関係者会議を行います。学校の先生方は教頭会等で普段から行き会う機会があるためオンラインでの会議開催、地域の方は実際に顔を合わせ、今後何か活動するときに力を合わせていけるよう会場参集での会議開催を計画しています。中学校の会議には、望月中学校以外は地域コーディネーターがいないので、各地区公民館館長に地域の方としてご参加いただく予定です。CS関係者の横の繋がりという点で、成果がでてくるのではないかと期待しています。

会議の進め方としては、目指すCSのビジョン、理想の姿、また地域や学校にそれぞれ求めるものなどについての調査票を参加者へ事前に送り、回答内容をまとめ、会議にてまとめた資料をもとに、目指すビジョンや願いのすり合わせをし、今後佐久市のCSが進む方向が少しでも見えてくれば、来年のまとめに繋げていきたいと考えています。

また、前向きに具体的にこれからどうして行くのがいいのかという話ができたらと考えています。不満や課題はもちろんあると思いますが、そこに留まるのではなく、今後どうしていくかという部分で話を進められたらと思っています。

委員長

続いて、子育て支援グループよろしく申し上げます。

子育て支援グループ代表委員

これまでに何度かグループで集まり話し合いを進めた結果、現在の子育て支援の居場所に関して解決すべき具体的な課題を三つピックアップし、1個1個手をつけていくことになりました。

まず、「支援が必要な人に支援窓口や支援サービスが周知されていない」という課題に注目し、子育て中の困りごとをどこに相談すればいいのか、子育て支援の居場所はどこにあるのかが分からない方々に向けて、支援マップを作成することになりました。

進め方としては、まずは相談できる窓口や子育て支援をしている団体、各機関から出ている既存の支援マップやしおり等の下調べをし、たくさんピックアップすることから始め、官民を越えて掲載できるのか等の掲載できる範囲を確認しながら、対象年齢ごとの支援マップが作れたらと考えています。

例えば、県から出ている「1人で悩まないで」というしおり、佐久市の福祉事務所から出ている「福祉のしおり」、不登校等対策協議委員会で作られた不登校支援のマップなど、既存の支援マップやしおりなどを、私たちが作る支援マップに、「こんなものもあるよ」「ここでもらえるよ」というような記載をしていければと考えています。最終的には、完成した支援マップを公共機関など多くの子育て中の方が見られる場所に設置、配布してもらうということを計画しています。

委員長

続いて多世代交流グループ、よろしくお願いします。

多世代交流グループ代表委員

わたしたち多世代交流グループは、中学校の部活の地域移行について、放課後の居場所の一つとして部活等があり、今後部活動が地域の多世代に関わる可能性があるというところで視野を広げようと思い、さまざまな立場の方が聞き取りを実施しました。保護者やスポーツ少年団に関わる人の声として、「部活動の地域移行という言葉が先行して内容がわからず不安」というような意見がありました。また、東御市などでは9月の議会に取り上げたりされています。社会教育委員の立場として何かできないかと考えています。

地域移行の問題については、教育委員会としての対応を聞きつつ、今後の調査方針についてまた相談しながら進めたいと思います。

委員長

ありがとうございました。ただいまの各グループの発表について、質問や意見はありますか。

委員（多世代交流グループ所属）

子育て支援グループのマップ作りは大変良いアイデアだと思います。市民活動グループの方からもこのような要望が出ていおり、やはり官民連携は大事だと感じます。乳幼児健診の場に、このような支援窓口を網羅したマップがあるといいと常々言われています。行政の担当部署は、子育て支援課や、乳幼児健診であれば健康づくり推進課だと思いますが、それらの課へはどのぐらいお話されましたか？あるいは、これからしていく予定ですか？

委員（子育て支援グループ所属）

子育て支援課などには、まだ連絡をとっていませんが、官民を越えて掲載できるかという問題も含めて、これから行政の方と連絡をとりながら進めていきたいと思っています。

委員（多世代交流グループ所属）

最近、ボランティアとして子育て支援課・健康づくり推進課の事業や、子どもと関わりたいという学生と「何かできることないか」という話をする機会がありました。マップやチラシを作成するのであれば、学生の中には絵を書くのが好きな方もいるので、一緒に活動ができれば嬉しいなと思っています。ボランティアフィールドを探している学生は多くいますが、かといって乳幼児健診などへ気軽に参加できるわけではないため、間接的に支援をする方たちと話ができるということは、学生にとっても良い機会になると思います。

委員（子育て支援グループ所属）

良いご意見をいただき、ありがとうございます。ぜひ一緒に活動させていただきたいです。

委員長

私からの意見ですが、どのグループにも言えることですが、必ずお金の問題が出てきます。しかし、ここは一旦、金銭的に実現できるかできないかは追々考えるとして、本当に必要とされる施策について提言ができれば良いと考えます。研究調査したことを、成果としてきちんと提言に繋げていきたいと思っています。

（２）運動部活動の地域移行について

委員長

事務局より説明をお願いします。

事務局（スポーツ課）より説明。（資料「佐久市における運動部活動の地域移行について」参照）

（３）その他

事務局

社会教育委員だより「そよかぜ」第9号について事務局より説明。